

## II-①平成25年度 精神障害者専門部会 活動報告

### <活動計画>

精神障害者部会は、参加機関からの事例紹介を年度を通して実施。毎回、参加機関から事例提出者・司会者・議事録を設定。助言者として二次相談支援機関の参加もお願いしている。最終回には全体の振り返りを行い、事例検討を通して地域の課題を見出すことができるかを模索して行く。

<参加機関>※事務局：南区高齢・障害支援課・南区社会福祉協議会・地域生活支援センター南海・南区生活支援センターサザンウインド

浦舟園・コスモス蒔田・コスモス南太田・こども医療センター・サザンワーク・清明の郷・たすけあいゆいケアホーム・中央浩生館・地域生活支援センター南海・地域生活支援センター南海 後見的支援・ホームコスモス・南区メディカルセンター訪問看護ステーション・南区社会福祉協議会・南区生活支援センターサザンウインド・南区福祉保健センター・民衆館・横浜市総合保健医療センター・横浜市立大学付属市民総合医療センター・横浜市発達障害者支援センター・南区地域自立支援協議会事務局

### <第1回 6月21日>

参加機関	議題	内容
浦舟園 コスモス蒔田 清明の郷 中央浩生館 地域生活支援センター南海 地域生活支援センター南海・後見的支援 横浜市総合保健医療センター 横浜市立大学付属市民総合医療センター 横浜市発達障害者支援センター 南区生活支援センターサザンウインド 南区福祉保健センター高齢・障害支援課 南区地域自立支援協議会事務局	1. 自己紹介～参加者13名  2. 自立支援協議会について説明  3. 精神部会について説明 *今年度の事例方法説明～ モデル事例を使って参加者確認 *提供者：南区福祉保健センター 障害サービス担当 *司会：南区生活支援センター *ホワイトボード書記： 横浜市総合保健医療センター	今年度おこなう精神障害者部会について説明。昨年同様、各参加機関からの事例検討を継続し、事例を通して各施設の紹介、顔の見える関係・支援者間での連携の図れる地域作りを目指すことを説明する。今年度は、ホワイトボードを活用しケースに上がった生活情報、生活歴、生活サイクル、生活能力、本人の希望等、必要な情報をホワイトボードに記入し、それを見ただけで事例がどのような状態にあるかを参加者が推定できるようにする。なので、第1回は、昨年度と違う進め方の事例検討もあり、モデル事例を使って事例検討の流れや、質問の出し方、考え方を参加者ごとで確認し共有している。
	4. その他連絡事項	

### <第2回 9月20日>

参加機関	議題	内容
浦舟園 コスモス蒔田 清明の郷 中央浩生館 地域生活支援センター南海 地域生活支援センター南海・後見的支援 ホームコスモス 横浜市総合保健医療センター 横浜市立大学付属市民総合医療センター 横浜市発達障害者支援センター 南区生活支援センターサザンウインド 南区福祉保健センター高齢・障害支援課 南区地域自立支援協議会事務局	1. 自己紹介～参加者17名  2. 事例検討 *提供者：中央浩生館 *司会：発達障害者支援センター *ホワイトボード書記： 横浜市立大学付属市民総合医療センター  3. その他連絡事項	事例タイトル：「支援に乗らない利用者へのアプローチ」 検討内容：事例提出者から事例の概要を説明。司会より参加者の理解を深めるために、利用者の状況について補足説明を依頼し、事例提出者から再び説明する。参加者からの質問など通して事例についての意見交換をする。ケースを取り巻く関係をホワイトボードに整理し、論点の焦点化とケース像のとらえ直しを行う。様々なアプローチの方法が出され検討し、結果として事例発表時には、実は支援にも乗れている状況であるということがわかり、いろいろな視点から、今後にも活かしていけるような考え方を共有することとなった。

### <第3回 11月22日>

参加機関	議題	内容
浦舟園 コスモス蒔田 コスモス南太田 清明の郷 たすけあいゆいケアホーム 中央浩生館 地域生活支援センター南海 地域生活支援センター南海 後見的支援 ホームコスモス 横浜市総合保健医療センター 横浜市立大学付属市民総合医療センター 横浜市発達障害者支援センター 南区社会福祉協議会 南区生活支援センターサザンウインド 南区福祉保健センター高齢・障害支援課 南区地域自立支援協議会事務局	参加者18名  1. 事例検討 *提供者：地域生活支援センター 南海・後見的支援 *司会：清明の郷 *ホワイトボード書記：浦舟園  2. その他連絡事項	事例タイトル：「対人関係の形成が苦手な方への支援」 検討内容：事例提出者から事例の概要を説明。司会より参加者の理解を深めるために、利用者の状況について補足説明を依頼し、事例提出者から再び説明する。課題は、人とのやりとりが苦手さがあり、人との関係が作れないことが理由で調子を崩したりする。本人は新しく行ける場所を希望しているが、気持ちに波があり、理想でやりたい事を口にしているが、具体的なイメージが無い方。情報を伝えても実行に移せないというケースを検討する。部会参加者からの質問など通して事例についての意見交換をする。ケースを取り巻く関係をホワイトボードに整理し、専門職によるアドバイス等がなされた。

〈第4回 1月17日〉

参加機関	議題	内容
浦舟園	参加者20名  1. こども医療センター紹介 * 児童思春期精神科 ソーシャルワーカーより ・ 児童思春期精神科の概要 ・ ソーシャルワーカー業務 ・ 事例紹介 ・ その他  * 司会: 南区生活支援センター  2. その他連絡事項	第3回の終わりに、第4回ではどの事例検討が良いのかを参加者に求めたところ、精神障害をお持ちの方の児童期にどのようなかたちで、医療支援や福祉支援が必要なのか、また事例や話しをあまり聞く機会がないという話しになり、こども医療センター児童思春期精神科のソーシャルワーカーに依頼をする。内容は、児童思春期精神科の概要・外来治療の流れ・写真での院内の紹介・ソーシャルワーカー業務・事例紹介がなされた。
コスモス蒔田		
コスモス南太田		
こども医療センター		
サザンワーク		
清明の郷		
中央浩生館		
地域生活支援センター南海		
地域生活支援センター南海・後見的支援		
ホームコスモス		
横浜市総合保健医療センター		
横浜市立大学付属市民総合医療センター		
横浜市発達障害者支援センター		
民衆館		
南区生活支援センターサザンウインド		
南区福祉保健センター高齢・障害支援課		
南区地域自立支援協議会事務局		

※第五回はH26年3月14日(金)に実施予定。

〈今年度について〉

活動の全てに事例検討・発表・情報交換の場の時間を設ける予定である。事例検討・発表をすることで、各事例からあげられた個別課題についての検討を第一に考え、最終的に地域課題を見出していければと考えている。又、各事業所の支援内容を他施設・機関に紹介・情報交換する事により、顔の見える関係・支援者間での連携の図れるネットワーク作りを今後も目指していく。

〈来年度について〉

事例検討・発表・情報交換の場・各施設・事業所の紹介の時間を設ける予定である。事例検討は、あげられた個別課題についての検討を第一に考え、最終的に地域課題を見出していければと考えている。又、各施設・事業所の紹介の時間・情報交換の場を設け、他施設を知り支援を知る、顔の見える関係・支援者間での連携の図れるネットワーク作りを今後も目指していきたい。